

Aono Junya



青野 純也くん

松前小学校 6 年・南黒田

まつまえ町の人たちは僕が思っていた通り、気さくで明るい人達でした。12月に再会できることをとても楽しみにしています。その時には、「まさき町はいい所だね、とても楽しかった」と言ってもらえるように、おもてなしいたいです。

Imai Rina



今井 里奈さん

松前小学校 6 年・宗意原

心に残ったのはウニ採りです。ウニを採るというのも初めてだったけど、その採ったウニを自分たちで割って食べるというのも初めてでした。途中で雨が降ってきて寒かったけど、その寒さを吹き飛ばすくらい、すごく楽しかったです。

Sakai Yosuke



酒井 陽亮くん

北伊予小学校 6 年・出作

楽しかったのはまつまえ藩の屋敷で甲ちゅうを着たことです。甲ちゅうを着せてもらって待気分でした。最高の2泊3日でした。まつまえ町の人たちが来たときは、空港で笑顔で迎えて、一緒にいろいろな体験をしたいです。

Nakaya Nanako



中矢菜称子さん

北伊予小学校 6 年・神崎

まつまえ町の友達とわたしの話し方や発音が違い、最初は聞き取りづらい時もありました。しかし、仲良くなるうちに、私がまつまえ町の発音になっていたのに驚きました。まつまえ町の友達と一緒に訪問した仲間は、一生の宝物です。

Kikuchi Sora



菊池 日天くん

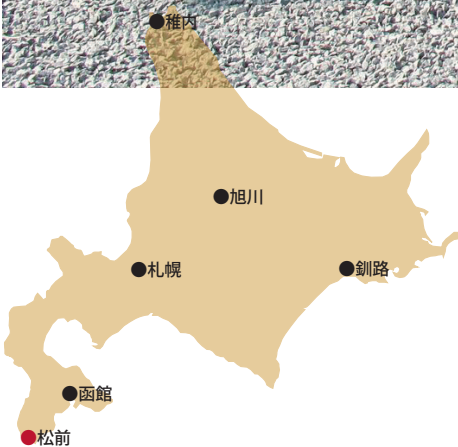
岡田小学校 6 年・上高柳

1番心に残っているのはウニ採りとまつまえ町の6年生の笑顔です。まつまえ町の6年生とは、すぐ仲良くなれました。松前町とまつまえ町の強いかけ橋になったと思います。今度は僕たちが松前のことを教えてさらに強いかけ橋になりたいです。

※本人からの申し出により削除
(2021年11月)

岡田小学校 6 年・上高柳

楽しかったのはウニ採りです。まつまえ町の友達が優しく採り方を教えてくれたので初めて採れました。まつまえ町、松前、北伊予小の友達ができたことがうれしいです。次は、松前町のことを案内するのが今からとても楽しみです。



まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業

12の夏、まつまえ町で貴重な体験

子どもたちが文化交流をしながら親善を深める「まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業」。

今年は6人の小学生が、まつまえ町で生活や文化を学びました。

1_松前藩屋敷では甲冑着を体験。全員で記念撮影 2_前田町長を表敬訪問する両町12人の小学生たち 3_本場の松前漬け作りにも挑戦しました 4_原口海岸では泳いだり、浮き輪に乗ったりして日本海を満喫 5_武士になりきって楽しむ子どもたち



それぞれの町の将来を担う子どもたち同士が文化交流をしながら親善を深める「まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業」。今年は、7月27日から29日までの3日間、まつまえ町を6人の小学6年生が訪問しました。

まつまえ町を訪れたのは、松前小学校の青野純也くん、今井里奈さん、北伊予小学校の酒井陽亮くん、中矢菜称子さん、岡田小学校の菊池日天くん、 の6人。

滞在期間中は、まつまえ町の小学6年生6人と行動を共にしました。両町の小学生12人で前田一男町長を表敬訪問したほか、対面式では、松前町の文化を伝えながら、互いの文化の違いを話し合いました。

原口海岸では、水中眼鏡で海中をのぞいて魚や海藻を観察したり、沖の岩まで泳いだりして、きれいな日本海を楽しみました。そのほか、法幢寺での座禅体験、松前漬けづくり体験、甲冑着付け

体験、海鮮バーベキューなど、まつまえ町では北海道ならではのさまざまな体験が準備されていました。子どもたちにとっては「見る」「学ぶ」「遊ぶ」「食べる」など、何もかもが感動の連続で、生涯忘れられない思い出になったようです。

多彩なメニューを通じてまつまえ町の生活や文化を肌で感じた6人は、見聞を広め、親善を深めました。

12月には、まつまえ町の小学生がやってきます。今度は、「愛媛ならではの体験をしてみたい」「まさきらしいおもてなしで迎えたい」と、現在準備が進められています。

